

第四部 日本資本主義発達史と三回の「デフレ」現象……………167  
はじめに 169

第1章 過去三回の「デフレ」現象の歴史的な概要 173

- 1、基礎的資料としての『日本銀行百年史』 173
- 2、「松方デフレ」とは 174
- 3、「井上デフレ」とは 178
- 4、「ドッジデフレ」とは 180

第2章 戦前の「デフレ」分析の到達点と分析方法をめぐる若干の問題について 181

- 1、戦前の日本資本主義分析における「デフレ」政策の階級の本質の把握 182
- 2、「デフレ」発生 of 貨幣・信用論的メカニズムを分析することの重要性 185
- 3、「インフレ」と「デフレ」発生 of メカニズム 187

第3章 「松方デフレ」の分析 191

- 1、典型的な「デフレ」としての歴史的意義 191
- 2、「紙幣の消却」という方法 192
- 3、大隈の見解にみる「デフレ」政策の模索 195

第4章 「井上デフレ」の分析 196

- 1、「広義の政府への貸出」の増加 196
- 2、高い金保有高の水準とその後の減少傾向の進行 197
- 3、日銀特融の問題 198
- 4、井上の認識の大きな誤り 201
- 5、海外の投機筋が狙い撃ち 204

第5章 「ドッジデフレ」の分析 205

- 1、国債引き受けの停止の意味するもの 205
  - 2、「ドッジデフレ」で不徹底だった「デフレ」政策 208
  - 3、戦争の打撃による「インフレ」要因 209
- むすびにかえて——三つの「デフレ」現象の性格 210